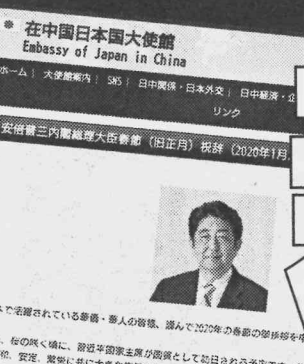


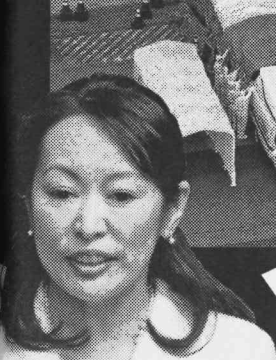
# 肺炎は人災だ



# 新型

## 安倍政権「中国渡航禁止」を言い出せない3つの理由

### ▶対応遅れを招いた二人の大臣



安倍首相と春節祝賀メッセージ

春節が始まる前日の一月二十四日、安倍晋三首相の

加藤勝信厚労大臣

「出入国管理法を所管する法相は『日本国の利益又は公安を害する行為を行うおそれ』がある場合に入国拒否できる。その『伝家の宝刀』と呼ばれる権限を、今こそ抜くべきだったのに、森氏は判断を官邸に丸投げした」(官邸担当記者)

## 春節後に削除されたメッセージ

春節祝賀メッセージが、北京の日本大使館のホームページにアップされた。

「二月七日、習氏はトランプ大統領と電話会談をして、アメリカの厳しい入国・渡航制限にクレームをつけた。しかし安倍首相とは話していない。習氏の露払いとして二月下旬に訪日して事前調整するはずの中国外交担

森雅子法務大臣

ところが、船内感染が拡大し、海外メディアから中

ダイヤモンド・プリンセス号の乗客からのメッセージ (中央)

「船の場合、病人も乗員も下船させるのが、世界のコンセンサス。船内感染が始まれば、発症した人を降ろしても、潜伏期の感染者もいるため、また広がってしまうからです。実際、今回のコロナウイルスで一月末にイタリアの港で大型クルーズ船の乗客乗員六千人が足止めされた時、イタリア政府は二人の感染者を処置して、十二時間で解放して

習近平・中国国家主席

「加藤勝信厚労大臣や厚労省の責任は重い。(二月十八日時点で) 船内の乗客乗員の感染者数は四百五十人を超え、大混乱に陥っています。全乗客へのウイルス検査を早く行うべきでした。もはや一刻も猶予はなく、下船させてほしい。私は七十代。もし感染したらと思うと不安で仕方ない。政府は失敗を認めるべきです」

## 抜かなかった「伝家の宝刀」

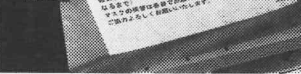
「こうした感染拡大は完全な人災です」  
「加藤厚労相はリーダーシップを取る気が全くないのです。日本国内で初の死亡者が出た十三日の会見で『国内で流行している」と判断するに足る情報が集まっていない』と言いつつ、前日の時点の状況とは異なっている」と認めたのはその二日後です。大阪府などが感染者の入院先や移動経路を公表していることを引き合いに、周囲からもっと情報公開すべきだと迫られた際も、加藤厚労相は『自治体に強制するわけにはいかない』。その結果、国民の不安を煽っているのです」  
対応の遅れを招いたもう一人の「戦犯」は森雅子法



当トップの楊潔篋・中国共産党政治局長とは連絡が取れず、十三日ようやく訪日を伝えてきました(同前) 前出の上氏が指摘する。

各社の世論調査で安倍内閣の支持率は軒並み下落した。政府関係者の話。「新型コロナウイルスの対応で、安倍シンパも逃がしてしまっただ。感染症のみならず、安倍政権も新局面を迎えているのです」 春節の前に手を打っておくべきだったのだ。

# マスク使い回し 大学病院、抱き合わせ商法 薬局チエーンの実名



手術室の張り紙

「全国でマスク不足が深刻になっていますが、大病院ですら例外ではありません」

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「熱が出た。新型コロナウイルス……」そう不安になったとき、どう行動すべきか。

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

今はインフルエンザなど感染性の病気が蔓延している時期。みだりに病院に行く

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

# 新型肺炎は 人災だ

厚労省は二月十七日、新型コロナウイルスの「受診の目安」を公表。さらに高齢者や持病のある人には二日程度での相談を呼びかけている。

# 高齢者が今すぐ やるべき5カ条



もちろん手洗いなどの生活習慣も大切

1 病院に行くタイミングを把握しておく

「熱が出た。新型コロナウイルス……」そう不安になったとき、どう行動すべきか。

「熱が出た。新型コロナウイルス……」そう不安になったとき、どう行動すべきか。

今はインフルエンザなど感染性の病気が蔓延している時期。みだりに病院に行く

「熱が出た。新型コロナウイルス……」そう不安になったとき、どう行動すべきか。

「熱が出た。新型コロナウイルス……」そう不安になったとき、どう行動すべきか。

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

「オペラの前にマスクが置かれていますが、在庫が少なくなってきたから

か、使いませと張り出された。絶対的な清潔さが求められるオペラ室で、あつてはならないことです」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

コクミンドラッグの店舗 (同社HPより)



「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

「そのほかの場所では、こんな通達もあった。『マスクと口の間にガーゼを挟んで使用してください』」

文春ムック 週刊文春 これが正解! 介護の手引き 好評発売中 定価(本体900円+税)



という。加えて、腸の動きを活性化させるため、適度な運動をすることも大事だ。

4 筋肉を鍛える運動

新型コロナウイルスに克つ運動とは、具体的にどんなものか。ナビタスクリニック理事長の久住英二医師が語る。「まず、呼吸筋を鍛える。これが弱まると、咳で痰や汚物をうまく出すことができな...」

5 食生活の改善

もちろん食生活に気を遣うことも重要だ。国際中医学管理師で管理栄養士の植木も子氏が語る。「八十代以上の高齢者は内臓が老化して衰えているので、消化のよい食事がいい。ホウレンソウ、小松菜、ブロッコリーなどの野菜は免疫を高めるにはいいですが、噛めない場合はポタージュやスムージー状にする。スムージーは少なくとも体温程度に温めましょう」

新型肺炎は人災だ

球菌。人の喉や鼻に棲みつき、咳やくしゃみによる飛沫から広がっていく。「肺炎球菌は、高齢者にとって怖い病原菌で、肺炎球菌型の肺炎にかかると、急性に重症化することがあります。ですが、二種類のワクチンが存在し、六十五歳以上になると打つことができます。保険外ですが、八千円から一万円。高齢者の肺炎予防には、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの併用が強く推奨されています」(大谷医師)

因となっています(同前) 嚥下機能、つまり飲み込む力の低下は、加齢以外の病的要因も大きいという。「誤嚥が起きるのは、嚥下反射、咳反射を司る大脳基底核のラクナ梗塞(細い血管の小さな脳梗塞)が影響している」と分かってきました。そこで、血圧やコレステロール管理、禁煙といった一般的な動脈硬化の予防策が大切になります。また、口内の細菌を誤嚥するわけですから、常に口の中を清潔に保つよう、口腔ケアを意識することで、リスクを軽減できます(同前) 丁寧な歯磨きやうがい、そして入れ歯の洗浄も重要になる。

冬季は、食中毒を引き起こすノロウイルスも猛威を振るう。介護施設の施設長が打ち明ける。「施設内で感染症が広がる利用者だけでなく、スタッフにも影響が出ます。特にノロは感染力が強いだけでなく、嘔吐や下痢等の処理が必要のため、感染のリスクが高く、精神的にも疲弊してしまふ。今は新型コ

ロナの影響でマスクや手袋が品薄になっているため、より緊張を強いられます」 ノロウイルス自体は命に関わる病原ではないが、高齢者の場合は、死に至るリスクがつきまとう。「かかるとやはり体力や免疫力が低下しますから、嘔吐物を喉に詰まらせたり、二次感染で肺炎を引き起こしてしまう可能性があります(奥野医師)」 防衛策はやはり消毒。次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤が有効だ。具体的な方法は、別記事(四六頁)で解説しているので、参考にしてほしい。

時節柄、高齢者に忍び寄る脅威は、何も感染症だけではない。入浴中の突然死もある。厚生労働省の統計によると、入浴中に何らかのかたちで亡くなる事例は年間一万九千人に達するといわれ、これは昨年の交通事故による死亡者数・約三千二百人を遥かに上回る。 東京都市立大学人間科学部の早坂信哉教授が語る。「入浴中に亡くなる方の約九割が高齢者と言われている。主な原因はヒートショックと熱中症です」 ヒートショックは急激な血圧の変動により、意識を失ったり、心筋梗塞や脳卒中を引き起こす現象。特に、室内外の温度差が激しい冬場に被害が集中することと知られる。「脱衣所が寒いと、交感神経が刺激されて血圧は三十分から四十分上がり、熱い湯船に浸かると、さらに十から二十上昇します。トータルで五十くらいはすぐに上がるイメージです。対策としては、まず脱衣所と浴室の温度差をなるべく小さくすること。脱衣所にはヒーターを置き、浴室内も、湯船にお湯を張る時、蓋をせずに蒸気を立たせ、室内が温まるようにしておく。入浴時、浴室の床にシャワーで三分ほどお湯をかけ流すだけでも効果がありません(同前)」 同様に、自宅で危険な場所がトイレだ。排便時のいきみや排尿後の弛緩で血圧はたやすく乱高下する。「高齢者にとって、風呂やトイレは常に命懸けの場所だと心得ておくべきです」

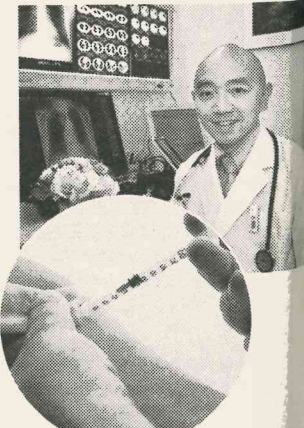
「喉の粘膜には線毛という細かい毛があり、外から入ってきた異物を外に追い払う役目を果たします。インフルエンザや風邪にかかると、線毛がダメージを受けるので、そこに菌が押し寄せ、細菌性の肺炎を合併する恐れがあるのです。線毛は潤いを欠くと弱るので、乾燥しやすい冬場は特に注意が必要です」 大阪健康安全基盤研究所理事長の奥野良信医師が付け加える。「高齢者かつ、糖尿病や腎臓病、高血圧症などの基礎疾患を持っていると、健康な成人に比べ、インフルエンザが重篤化するリスクは百倍以上になると言われます。もともと体力や免疫力の落ちている高齢者がインフルエンザでさらに抵抗力を落とし、基礎疾患を急激に悪化させたり、細菌による二次感染を起こして毎年多くの方が命を落とす。インフルエンザは新型コロナウイルスより怖いといえるのです」 日常生活の中で発症する肺炎で、病原として最も多くの割合を占めるのが肺炎

新型より怖い 死を招く身近な病い ノロ、インフル、風呂、トイレ 防御術



早坂氏、長尾氏

「喉の粘膜には線毛という細かい毛があり、外から入ってきた異物を外に追い払う役目を果たします。インフルエンザや風邪にかかると、線毛がダメージを受けるので、そこに菌が押し寄せ、細菌性の肺炎を合併する恐れがあるのです。線毛は潤いを欠くと弱るので、乾燥しやすい冬場は特に注意が必要です」 大阪健康安全基盤研究所理事長の奥野良信医師が付け加える。「高齢者かつ、糖尿病や腎臓病、高血圧症などの基礎疾患を持っていると、健康な成人に比べ、インフルエンザが重篤化するリスクは百倍以上になると言われます。もともと体力や免疫力の落ちている高齢者がインフルエンザでさらに抵抗力を落とし、基礎疾患を急激に悪化させたり、細菌による二次感染を起こして毎年多くの方が命を落とす。インフルエンザは新型コロナウイルスより怖いといえるのです」 日常生活の中で発症する肺炎で、病原として最も多くの割合を占めるのが肺炎



従来型の肺炎にはワクチンを

「国策不捜査」「森友事件」の全貌 籠池泰典「赤澤電也」著 各メディアで話題騒然!!



# 週刊文春

2月27日号



定価 440円

